

從來の組合運動が思想界に左右されて輕薄となつてゐたに對し、吾々先づ組合内部を充實せしむることが經濟運動たる組合の本務である、即ち本大會の決議を以つて經濟部門を設け組合員の福利施設に意を注ぐ所以である。

實行方法

執行委員會にて豫算を立て實行に移る。

以上四議案異議なく全部可決。

11、昭和九年度運動方針に關する件

(書記草案を朗讀可決―別紙の通)

12、役員銓衡委員會報告

森 本 勇 報告

組合長 伊 藤 卯四郎

主 事 宮 崎 太 郎

會 計 笹 岡 正 實

13、新役員代表挨拶

(挨拶の要旨)

同監督 同

山木戸 初太郎

森 本 勇

伊 藤 卯 四 郎

今日迄の運動はイバラの道を血ミドロに闘つて來た。炭坑主は十年一日の如く壓迫を續けてゐる、好景氣永く續かずとの見越の下に暴利を食つてゐる、炭坑景氣もこゝ二三年と見なければならぬ、坑夫諸君に命懸けの働きをさせてこゝ二三年の火事場泥坊をやつてゐるこの儘で炭坑主が目醒めない場合は來春大きい問題が起ることを確信する、坑夫諸君の要求を引提げて立つ覺悟を有することを斷言する。

今日一般には賃銀一割値上と謂はれてゐるが鐵工業に於て